

2

日本という国「もみじ狩り」

日本を見つめ直し、楽しく生活、仕事しましょ、シリーズ

日本人が普段当たり前だと思っただけで過ごしていることが、実は世界では当たり前ではないことが多々あります。

たとえば、日本人は日本の紅葉を当たり前のように見ているのですが、世界では類をみない美しいものです。赤、緑、黄色の多彩さが沖縄以外、日本全土で見られることによります。他の国でも紅葉はありますが、単調で寂しい景色が多く、色彩が豊かでもごく一部の地域に限られます。

実は、日本の紅葉が美しいのは日本の自然環境が他の国に比べて恵まれていることによります。

紅葉の代表的なモミジなどの落葉広葉樹は、北半球の温暖な地域に植生しますが、寒暖の差によって赤く色づきます。しかし、寒冷と乾燥に弱い弱点があり、最後の氷河期と言われる1万年前までに、ヨーロッパの殆どの地域とアメリカ5大湖あたりまで氷結し、多くの赤く紅葉する落葉広葉樹は死滅しました。

しかし、日本では奇跡的に黒潮の暖流に守られて氷結することなく生き残りました。 ●落葉広葉樹日本26種、ヨーロッパ・カナダ13種

温暖な気候と豊富な降水量、火山が多いため地形が変化に富み、急峻であるため、限られた面積に多様な環境が存在し、多様な動物や植生が共存する国土になりました。 ●固有種数 日本131、ガラパゴス110、イギリス0

●生命の宝庫である森林面積、日本67% カナダ38% アメリカ33% ドイツ30% 中国14% イギリス10%

●年平均気温、降水量 東京 15.9℃1467 mm 北京12.3℃576 mm ニューヨーク 12℃1056mm

ロンドン10.0℃751mm パリ10.9℃648 mm ベルリン9.7℃571 mm ローマ15.6℃717mm

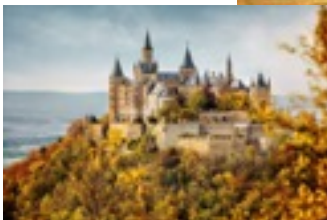
生命の豊かな環境は食環境も豊かであり、日本列島は奪いあう必要の無い、世界で類のない1万年という平和な縄文の時代をつくりました。しかし、他の世界では限りある豊かな自然環境を奪いあう必要がありました。

奪うために権力が発生し、管理する手段として記録を必要とし結果、文字が発生しました。また奪い合うことにより、多くの民族が虐殺され消滅しました。（共存する余裕がないからです。）

古代の日本は文字がなかったのが劣等という見方がありますが、日本は豊かな自然に囲まれ、侵略が困難な海に囲まれ、文字を必要としない幸せな場所であったことが近年の世界的な研究で認識されつつあります。



北海道



ヨーロッパの一般的な紅葉

水

私達が当たり前に使っている水も世界に類をみないものです。沖縄の一部を除き、国中で軟水をふんだんに使える先進国は日本しかありません。ヨーロッパの殆どの地域は硬水で、飲料、料理、洗濯、洗顔に適しません。ヨーロッパの人々が毎日シャワーを浴びる習慣がない理由の一つと考えられます。